

みなみ ぼう そう

南房総



第34号

平成26年11月13日

議会だより

発行 千葉県南房総市議会



全員野球

9月定例会レポート

決算審査	4p
補正予算審査	8p
委員会報告	9p
7議員が市政を問う ~一般質問~	11p
こんなまちづくりに期待します	19p



富浦野球スポーツ少年団

9月定例会



平成26年9月（第3回）定例会が、9月2日から9月30日までの29日間開催され、条例議案5件、一般議案4件、補正予算5件、平成25年度決算認定10件、請願1件、発議案1件を審議した。採決の結果、すべて原案のとおり可決した。今回の議会で決まった主なこと、議決結果は、次のとおり。

9月定例会で決まった主なこと

○家庭的保育事業等、放課後児童健全育成事業、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、家庭的保育事業等の設備と運営基準を定めた。

○財産の無償貸付

サッカースクール及び英会話スクールの事業展開にあたり、丸山運動広場敷地内の管理棟を「㈱スポーツマネジメント インターナショナル」に無償で貸し付け、スポーツ交流による地域の活性化を図るもの。

○一般会計補正予算（第6号）

B & G財団から助成を受けての千倉B & G海洋センタープールの大規模改修経費、旧三芳幼稚園舎・旧平群小学校プールの解体経費、がんばる地域交付金の交付限度額追加によるスクールバスの購入費、公共土木施設災害復旧事業費などを追加し、職員の人事異動等に伴う人件費を減額した。

○平成25年度決算の認定

一般会計、特別会計（7会計）、公営企業会計（2会計）の決算を認定した。

平成25年度の主な会計別決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	251億9,205万円	237億8,570万円
国民健康保険特別会計	70億8,862万円	65億8,013万円
後期高齢者医療特別会計	4億9,697万円	4億9,487万円
介護保険特別会計	48億5,826万円	46億8,321万円

平成 26 年南房総市議会 9 月定例会提出議案議決結果

議案種類	件 名	議決結果	付託委員会
議案第 47 号	南房総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致	総 務
議案第 48 号	南房総市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致	総 務
議案第 49 号	南房総市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致	総 務
議案第 50 号	南房総市児童遊園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	総 務
議案第 51 号	南房総市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決 全会一致	福 祉
議案第 52 号	契約の締結について（南房総市丸山体育館大規模改修工事（建築工事））	原案可決 全会一致	—
議案第 53 号	契約の締結について（千倉幼保一体化施設整備工事（建築工事））	原案可決 全会一致	—
議案第 54 号	財産の無償譲渡について	原案可決 全会一致	総 務
議案第 55 号	財産の無償貸付について	原案可決 全会一致	総 務
議案第 56 号	平成26年度南房総市一般会計補正予算（第6号）	原案可決 全会一致	予算審査特別
議案第 57 号	平成 26 年度南房総市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決 全会一致	予算審査特別
議案第 58 号	平成 26 年度南房総市国保病院事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決 全会一致	予算審査特別
議案第 59 号	平成 26 年度南房総市水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決 全会一致	予算審査特別
認定第 1 号	平成 25 年度南房総市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 賛成多数	決算審査特別
認定第 2 号	平成 25 年度南房総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 賛成多数	決算審査特別
認定第 3 号	平成 25 年度南房総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 4 号	平成 25 年度南房総市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 5 号	平成 25 年度南房総市滝田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 6 号	平成 25 年度南房総市北三原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 7 号	平成 25 年度南房総市南三原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 8 号	平成 25 年度南房総市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 9 号	平成 25 年度南房総市国保病院事業会計決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
認定第 10 号	平成 25 年度南房総市水道事業会計決算の認定について	原案認定 全会一致	決算審査特別
請願第 1 号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	原案採択 全会一致	福 祉
議案第 60 号	平成 26 年度南房総市一般会計補正予算（第 7 号）	原案可決 全会一致	—
発議第 3 号	手話言語法制定を求める意見書案	原案可決 全会一致	—

平成 25 年度決算を認定

10 会計総額 379 億 2,954 万円を支出



決算審査

平成 26 年 9 月 18 日、決算審査特別委員会を招集し、議長及び議会選出監査委員を除く全議員で審査を行った。付託された議案は、原案のとおり認定すべきものと決定した。

◎平成 25 年度一般会計決算

総務委員会所管

問 空き家バンク運営経費の内訳は。

企画政策課長 平成 25 年度の移住者希望登録が 20 世帯、空き家登録が 4 件、契約実績が 4 件、改修補助が 3 件で 27.1 万円だった。

問 道の駅「和田浦 WA・O!」の売り上げ約 2 億円の割合は。

地域の物産が減っているようだが。

市民協働課長 レストランが約 5 千万円、残り

1 億 5 千万円が物販と聞いている。

市長 地域活性化のためになるべく地元の物売っていき、経営全般を考えながら地元振興につながるよう努力しているので、応援していきたい。

問 市民活動応援事業、「はじめの一步コース」「チャレンジコース」の成果は。

企画部長 「はじめの一步コース」が 1 年限り 5 万円、「チャレンジコース」が 1 年 30 万円を 3 年間で 90 万円を補助し、市民協働団体の活性化にある程度の効果を上げている。

問 給食賄い材料費のうち、地元産品の割合は。地元産を増やせないか。

教育総務課長 金額で市内 42%、市外 58% となっている。

教育長 1 か月、2 か月先の農産物の確保が難しいので、やむを得

ず市外の物を使わざるを得ないが、努力をしていく。

問 奨学資金貸付基金の平成 25 年度の件数は。

教育総務課長 平成 25 年度の新規が 10 人、現在、貸付中が全体で 35 人、返済中が 36 人となっている。

問 スクールバス購入費 8624 万円の内訳は。

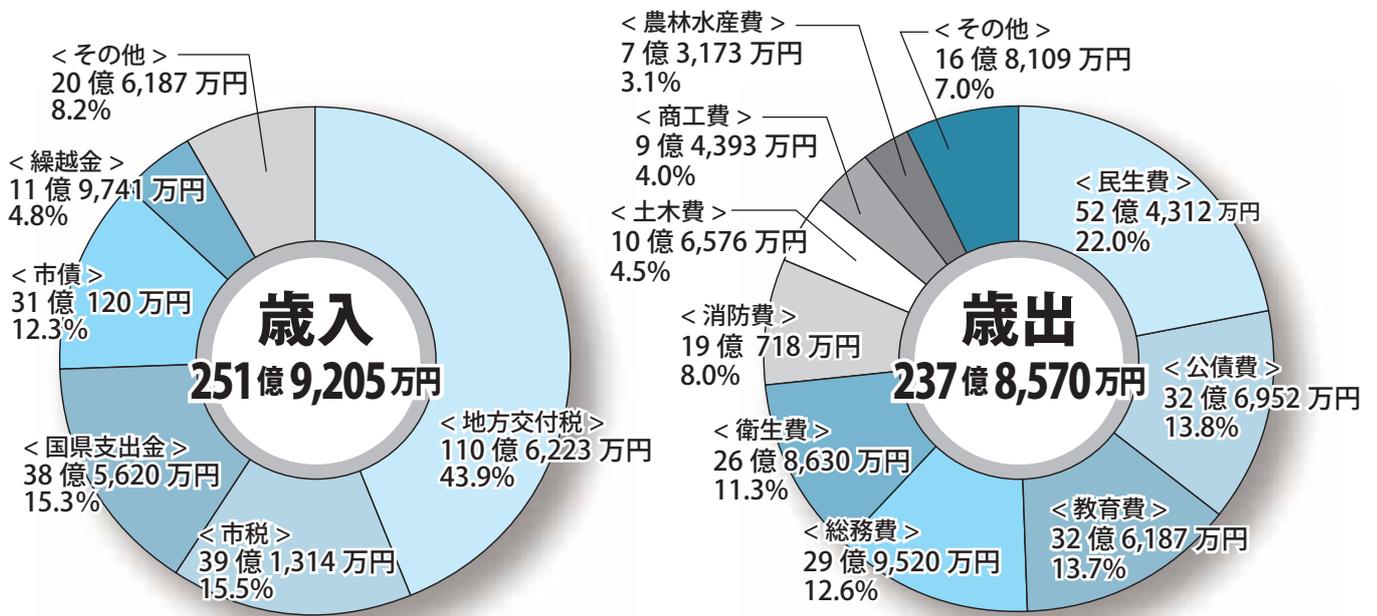
教育総務課長 新規では学校再編に伴い大型 60 人乗り 2 台、中型 45 人乗り 1 台、小型 29 人乗りを 5 台新規に購入。中型 45 人乗り 1 台を更新した。

福祉委員会所管

問 火災時の防災行政無線放送は、夜間の場合、当該地域と隣接地



道の駅「和田浦 WA・O!」



平成 25 年度一般会計決算内訳

- 問** 域へはできないか。
消防防災課長 消防団員用には地図を添付したメールで通知するようになったので、当該地区のみに放送する方向で消防委員会に諮りたい。
- 問** 生活保護家庭の内訳と自立支援策は。
社会福祉課長 9月1日現在で238世帯の内、単身世帯が205世帯、2人世帯が31世帯、4人世帯が1世帯、7人世帯が1世帯で、合計278人が生活保護を受けている。
 非常勤の就労支援員を1人配置して、年齢的にまだ働ける人は、ハローワークと連携をし、極力就労に向けた対策をしており、4月1日時点から7世帯、10人減っている。
- 問** 緊急医療情報パプセルの配付で助かった人は。
健康支援課長 救急車等での搬送が12件あった。
- 問** 看護師等修学資金貸付基金の件数と、貸付対象は。
健康支援課長 平成25年度は、新規が4人、合計13人。将来安房郡市内において看護師等に従事しようとする学生に対し貸し付けている。
- 問** 緊急通報システム利用者150人のうち、通報した件数は。
健康支援課長 搬送等につながった件数が19件あった。

産業委員会所管

- 問** あわび増産総合対策事業補助金とは。
農林水産課長 増産総合対策事業として富浦漁協、東安房漁協の2カ所へ要望に沿い平板を設置した事業費の2分の1、50万円を上限として助成している。
- 問** 平館漁港の荷揚げ場の強靱化事業は、県営漁港のため県との協力が必要では。
農林水産課長 法改正があり、県でも捕獲ビ
- 問** 柱の老朽化が著しく、緊急性があったので、早急な対策をした。地区一帯の整備については、鋭意協議を行っている。
農林水産課長 イノシシ対策は、金網や防護柵など被害防止に力を入れているが、頭数を減らすことが必要では。
- 問** 岩井漁協と富浦町漁協が合併するが、恩恵はあるのか。
農林水産課長 コスト削減、荷の集約等、プラス面が発揮されていくのではないかと。
- 問** 岩井漁協と富浦町漁協が合併するが、恩恵はあるのか。
農林水産課長 コスト削減、荷の集約等、プラス面が発揮されていくのではないかと。



平板による漁場造成

財政指標

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
財 政 力 指 数	0.363	0.362	0.373
実 質 収 支 比 率	8.2%	7.1%	7.5%
経 常 収 支 比 率	80.8%	81.3%	80.9%
実 質 公 債 費 比 率	6.8%	8.1%	9.4%

■ 財政力指数

3年度間の平均値で表す。1に近いほど財政力が強い。1を超えると余裕財源を持っていることになる。平成25年度は0.363ポイントで前年度を0.001ポイント上回った。

■ 実質収支比率

実質収支額の水準を判断するもの。3～5%が望ましいとされる。平成25年度は8.2%で前年度を1.1ポイント上回った。

■ 経常収支比率

低いほど弾力性がある。税金などの一般財源が扶助費や人件費などの経費にどれだけ使われたかを表すもの。平成25年度は80.8%で前年度を0.5ポイント下回った。

■ 実質公債費比率

18%から地方債の発行に許可が必要になる。25%以上で地方債の発行が制限される。平成25年度は6.8%で前年度より1.3ポイント下回った。

問 観光マーケティング事業の委託とは。

観光プロモーション課長 (株)

JTBコーポレートセールスに委託し、国の緊急雇用の事業で雇用した5人の臨時職員が観光資源等を調査し、『ももぎ』という南房総市のパンフレットを製作した。

問 青年就農者確保・育成給付金事業、担い手育成事業の成果は。

地域資源再生課長

県の経営体育成セミナーの受講者6人と、研修者3人を受け入れた市内の農家3軒に給付をし、研修の終わった1人が就農した。

討 論

反 対 討 論

学校再編は、保護者や住民などの合意が不十分だ。

『13歳からの道徳教科書』は、現在道徳の

本が配られており、この本を配る必要はない。

議長公用車の購入や政務活動費を12万円への引き上げに対し、市民からの声もあり、政務活動費の使途を公表すべきだ。

子ども医療費についても、館山、鋸南が引き上げようとする中、南房総市でも中学校3年生まで上げるように求め反対する。

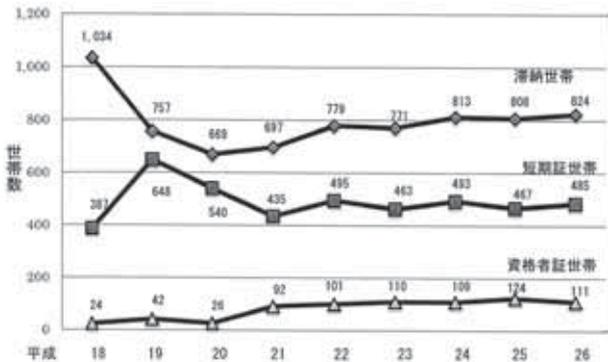
賛 成 討 論

千倉の幼保一体化施設や、『13歳からの道徳教科書』、議長公用車の購入に対する市民からの是非、子ども医療費で通院費の助成等、指摘があったが、納得できる回答があり、賛成する。

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定した。

国保税滞納世帯と措置の推移

国保税現年度滞納世帯に対する措置状況（短期証・資格証交付世帯）





富山国保病院

◎平成25年度国民健康保険特別会計決算

問 滞納者に対する資格証明書や短期保険証の発行数、短期保険証の留め置き件数は、

また、財政調整基金の保有額は、

保険年金課長 短期保険証が591世帯、資格証明書が121世帯、窓口留め置き件数は、5月1日現在で431

世帯ある。

平成25年度末の財政調整基金は2億1767万円。

討 論

反 対 討 論

資格証明書の発行は中止し、短期保険証を発行し、留め置きせず渡すよう求める。

国に対しても、国庫負担の増額を求めている。

また、財政調整基金を取り崩し国保税を引き上げないよう求めて、反対する。

賛 成 討 論

医療費を削減するため、診療報酬明細書をチェックしていること、特定健診実施率を高める努力をしていること、高い収納率を維持し、基金も2億1千万円を維持できているので、賛成する。

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定した。

◎平成25年度後期高齢者医療特別会計決算

問 短期証の発行件数は、

保険年金課長 6月16日現在で5件。

原案どおり認定すべきものと決定した。

◎平成25年度滝田財産区・北三原財産区・南三原財産区特別会計決算

問 財産管理委員だけの総会は可能か。また、総会は行われたか。

行革財政課長 管理会の権限であり可能だが、開催したという報告はない。

原案どおり認定すべきものと決定した。

◎平成25年度国保病院事業会計決算

問 改築後27年が経過しているが、全体の改修予定は、

国保病院事務長 耐震基準も満たしており、現時点では、新築、改築等は、考えていない。

原案どおり認定すべきものと決定した。

◎平成25年度水道事業会計決算

問 有収率が1.6ポイント増加したが、漏水調査は全区域で終わっているか。

水道局長 2年間掛けて全区域を調査している。平成25年度は、富山、丸山、千倉の調査をした。

原案どおり認定すべきものと決定した。

◎介護保険特別会計決算、公共用地取得事業特別会計決算の質疑はなく原案どおり認定すべきものと決定した。

平成 25 年度公営企業会計決算

項 目		水道事業会計	国保病院事業会計
収益的収入及び支出	収入	14 億 6,009 万円	5 億 2,912 万円
	支出	13 億 5,511 万円	5 億 639 万円
資本的収入及び支出	収入	1 億 5,186 万円	6,356 万円
	支出	4 億 4,453 万円	7,412 万円

一般会計補正 1億309万円追加

総額 246億3,420万円



補正予算

平成26年9月17日、予算審査特別委員会を招集し、議長を除く全議員で審査を行った。付託された議案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑・答弁は次のとおり。

◎一般会計補正予算（第6号）

民生費

○社会福祉総務費

160万円

問 生活保護者の就労自立給付金の上限は10万円だが、再受給できるのか。

社会福祉課長 給付金を受けると3年間は受給できない。

農林水産費

○園芸施設省エネルギー化推進事業

845万円

問 認定農業者は誰が決めるのか。市内には何人いるか。

農林水産課長 市の協議会で認定。107人。

○農産産地支援事業

169万円

問 県が3分の1補助するが、機械何台分か。

農林水産課長 散布幅16メートルで、幅30メートルのは場なら一往復で終わる「自走式防除機」1台。

教育費

○千倉B&G海洋センター管理運営費

4508万円

問 プールは、28年間大規模改修はなかったのか。

生涯学習課長 平成5年度に水槽の塗装、平成6年度に鉄筋の塗装、平成7年度に幕帯を取り替えた。

問 競技用プールは、

本市にあるか。改修時に本格的な競技用プールにする考えはあるか。

生涯学習課長 競技用プールはない。

市長 体育施設をどう整備するか協議している。

○廃園・廃校施設管理事業

1607万円

問 旧平群小学校のプール解体後の利用は。

学校再編推進課長 利用計画はない。しばらく駐車場として使う。

○スクールバス運営事業

4120万円

問 スクールバスの更新計画は。

教育総務課長 購入してから23年経過し、走行距離30万キロ以上を基準に考えている。

◎介護保険特別会計補正予算

○介護給付費準備基金積立金 442万円

問 積立金残高は。健康支援課長 1億2387万円。

◎国保病院事業会計補正予算

○有形固定資産購入費

753万円

問 今回の補正では何をかうのか。

国保病院事務長 国保病院の車いす利用者も入れるユニット型入浴装置を備えた浴槽。

問 どのような浴槽か。国保病院事務長 一般病床の座位で入る浴槽。

◎水道事業会計補正予算は、質疑はなく原案どおり可決すべきものと決定した。

◎平成26年度一般会計補正予算（第7号）

875万円を追加

9月11日の大雨で被災した、農地・農業用施設、林道、市道、河川の災害復旧の費用として補正予算（第7号）

○農地・農業用施設災害復旧費 281万円

○林業施設災害復旧費 108万円

○道路橋りょう災害復旧費 368万円

○河川災害復旧費 118万円

総務

丸山運動広場を無償貸付

平成26年9月16日、総務委員会を招集し、付託された議案の審査を行った。

主な質疑・答弁は、次のとおり。

◎家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

問 全ての市町村が制定するののか。

子ども教育課長 制定することになる。

問 都市と地方の現状は適合するののか。

子ども教育課長 適合はしていないが、国の基準と同じと考える。

問 最低基準を向上させる指導は。

子ども教育課長 文面等で指導する。

原案どおり可決すべきものと決定した。

◎財産の無償貸付（丸山運動広場）

問 貸付先は、どこか。ほかの場所でも活動しているののか。

生涯学習課長 「株スポー

ツ マネジメント インターナショナル」で会社登記は平成26年4月23日設立、資本金900万円で神奈川県3カ所、千葉県3カ所で活動予定。

問 期間は5年とした理由と途中撤退の罰則は。

生涯学習課長 5年間以上の継続的な事業として考えている。罰則は考えていない。

問 契約期間内に撤退しないよう、市としての対応は。

生涯学習課長 できる限りの支援をしたい。

問 安房地域外の参加者誘致と地元雇用の可能性は。

生涯学習課長 参加者の誘致は市としても努力する。アシスタントコーチやセンターハウスの運営等で地元雇用はあると考える。

原案どおり可決すべきものと決定した。

◎放課後児童健全育成事業、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を定める条例の制定、児童遊園設置及び管理に関する条例の一部改正、財産の無償譲渡は、質疑等はなく、原案どおり可決すべきものと決定した。



改修中の丸山運動広場管理棟

福祉

手話言語法制定を求める 請願を採択

平成26年9月12日、福祉委員会を招集し、付託された議案の審査を行った。

主な質疑・答弁は、次のとおり。

◎老人いこいの家の設置及び管理に関する条例の廃止

問 平成25年度の利用者数は、

また、入浴施設利用者は今後はどうするの

か。

健康支援課長 利用者は547人。今後は、市内にある他の3カ所の施設を利用してほしい。

問 入浴施設3カ所はどこか。

健康支援課長 「和田地域福祉センターやすらぎ」、「ちくら介護予防センターゆらり」、「とみうら元気倶楽部」。

問 送迎は考えているか。

健康支援課長 今後検討する。

問 入浴施設の今後の整備方針は。

市長 市内外からの需要を考慮しながら、廃止や新設も含めて考えたい。

原案どおり可決すべきものと決定した。

◎手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

問 長い間の差別とは。

紹介議員 ろう学校では手話教育がなされず、地域社会でも手話が正しい観点で用いられていなかったところだと思ふ。

問 安房地域の手話教育の現状は。

紹介議員 学校教育の中では、手話を基調としたものは行われていない。

問 請願の趣旨からすると、現在、特別支援学校で、安房地域のろう者が学習していることについて検討の必要があるのではないかと思うが、そのような旨は意見書に含まれないのか。

紹介議員 今回の意見書には、含まれない。

問 学校でも、手話サークルのような教育はされていると思うが。

紹介議員 地域で、そのような活動があることは聞いているが、県下の学校教育の中で、授業として行っているところはない。

原案どおり採択すべきものと決定した。



とみうら元気倶楽部



総合検診



阿部美津江議員

胃がんの早期発見、予防に有効な胃がんリスク 検診の導入を

国や県の指針に沿って勧めている

問 昨年2月にピロリ菌除菌治療が保険適用となり、ピロリ菌検査の導入の考えは。

市長 費用を行政側がすべて負担するの
か、市民にも負担してもらうのか、今後検討していく。

問 ピロリ菌検査の方法と検査費用を伺う。

保健福祉部長 3種類あり、血液検査によるピロリ菌検査は、全額自費で3千円程度かかる。

問 犬、猫殺処分の現状と、殺処分を減らす対策は。

市長 平成25年度安房管内では、犬959頭、猫2806頭、合計3765頭が殺処分されている。県と連携、協力をして、殺処分を減らすために適正な飼育の推奨に努める。

問 無料クーポン券を交付してもがん検診を受診されない人への対応や総合検診の受診勧奨の対応は。

保健福祉部長 本年から宮がん検診の未受診者に対し、再度送付予定。総合検診会場は市内7地区に設営し、受診者送迎バスを運行している。

問 飼い主が特定できない猫は、地域住民のボランティア活動や市民活動を行う政が支える形が理想と考える。市独自に飼いが特定できない猫への不妊去勢手術の助成の考えはあるか。

建設環境部長 生後91日以上の犬猫1頭につき3080円、生後91日未満の子犬、子猫は1頭610円かかる。

動物愛護、動物との共生社会について

問 野良猫対策としての今後の方針は。

市長 地域の協力を得て地域猫活動の周知とともに、不用意な餌やりに対する指導をしていく。

市長 市独自の対策としては実施していないが、「地域猫活動」の対策について周知を図る。



対策が必要な野良猫



峯 隆司議員

公共施設の跡地利用は、効果的な運用が求められていると思うが

公有財産活用検討委員会で施設ごとに最善の活用方法を協議していく

問 活用に関しての方針は。

市長 総合的に判断し、再利用や解体撤去、土地の売却などをして

問 廃止した施設は、市の大切な財産であり、適切な管理が必要だと思いが、跡地全体の活用方法についての考えは。

いる。

市長 公共施設等総合管理計画を平成27年度策定に向けて進めており、長期的な人口の推移や財政の推計をもとに公共施設の有効活用の方性を示し、施設の撤去から長寿命化、新設までを10年以上の期間を定めて年次計画で進めていく。

市長 市内には県が管理する千倉漁港、乙浜漁港、和田漁港と、市の管理する16の漁港があり、漁業協同組合が主体となり、地域住民によるゴミゼロ運動や市の事業による取り組みが実施されているが、ごみの不法投棄は依然としてなくならない。

市長 放置艇は、全国各地で社会問題として顕在化しており、本来、所有者自らが処理を進めるもので、問題化する前の段階で適正な保管状況が確立できるよう、関係機関と連携していく。

小型船舶等は、登録制度や定期検査制度があるが、登録抹消時に廃船処理の確認義務がないので、国の関係機関に制度の改正を要望していきたい。



旧長尾小学校

漁港の環境対策

問 使用されなくなった漁具や廃船は、漁港や漁場そのものに悪影響を与える可能性があるが、市の対策は。

移行期間に犯罪などの発生がないよう、管理している。

問 廃船の責任の所在を明らかにし、最終的な処分まで行政が一貫して指導、監督することで、よりよい環境づくりにつながると考えるが。

今後とも、漁業協同組合や漁業者と協力して、漁港環境の整備に努めていく。



七浦漁港



南三原小学校

小学校、幼保施設は南三原地区に統合の約束は

問 学校再編検討委員会では丸山に統合で

可決したが、和田地区の大多数は納得していない。検討委員会の委員は和田地区5千人の住民の一部の委員で決めたものである。地域を越えた初めてのケースで、感心できない進め方だ



高木 幹男 議員

和田・丸山地区学校再編について

納得されているとは思っていない

と考えるが。

市長

和田地区の全住民が、検討委員会の

内容について、納得されているとは私自身も思っていない。答申内容を理解されるよう地域の方々に話ができるばと考えている。

問

旧和田中学校の海抜は9メートルで富

浦中学校と同じだ。なぜ富浦中学校が安全で和田中学校が危ないのか。

市長

津波に対して私は専門家ではない

ので、どちらが安全かは一概には言えない。しっかりとした安全対策を市内全域にわたって対応していかなければならないと思っっている。

問

和田地域住民は同意をしていない。

住民の意識、気持ち、そして地域間のバランスを総合的に判断すれば急いで合併する問題ではないと考える。

私としては白紙撤回を求めたいと思う。

市長

再編検討委員会の答申内容に従

い進めていきたいと考える。

問

総務省発表では、南房総市が千葉県

で一番財政破綻が早いと新聞紙上に発表されている。

旧和田中学校は新しく建てられた学校だ。小学校、幼保施設を新たに建設すれば消費税も上がり

40億円の予算が必要だと考える。

旧和田町は大きな問題については住民投票を行い7町村で合併した。安房地区の中で学校のない

市長

この問題に対して和田地区での住民投票は考えていない。

は和田地区だけだ。地区民による住民投票を市長に求めたい。



嶺南中学校和田校舎



安田美由貴議員

高齢者のバス券やタクシー券を所得制限なく使えるようにできないか

低所得者の負担軽減対策として行っている

問 今年度からタクシ―券利用者が消費税増税分を払っているが、市が負担すべきではないか。

市長 負担する考えはない。

問 新たに市が11万円を負担すれば済むが。

保健福祉部長

過去2回初乗りに合わせ改正したが将来的なことを考え今回見送った。

問 低所得者への負担軽減対策にならないのでは。

市長

低所得者の負担軽減だけでなく外に出しづらい高齢者を支援する目的もある。

問

市長

タクシー券を使い切った人は170人中30人なので増やさない。

問

一度に何枚も使えるようにすれば余らせないのでないか。

保健福祉部長

研究する必要はある。

**広域ごみ処理施設の
評価項目**

「厳しい公害防止条件を守る施設か」

の重要度が低い、環境への配慮は重要度が高くなるのか。

市長

環境対策が重要なのは当たり前前で、総合評価での位置付けだ。

問

建設環境部長

評価項目はどうやって作ったのか。

問

8年前に談合で営業停止処分を受けた会社だ。意見を丸のみし

て良いのか。

建設環境部長

心配ないというところで発注している。

千倉幼稚園

環境が整わない中、統合を急いだことで子ども達たちへの負担がかかっているか。

問

教育長

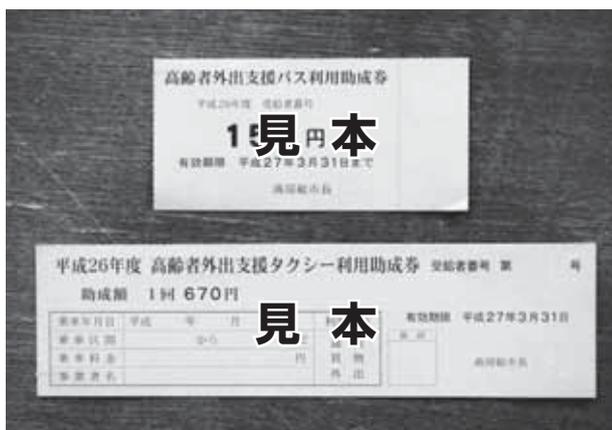
統合を急いだという認識はない。

問

年長1人あたりの部屋の広さは市内9幼稚園で最も狭い。1部屋34人で設置基準ギリギリ。手で対応できない子もいるが、どう考えるか。

教育長

統合の有無に関わらず、園



バス・タクシー券



千倉幼稚園園舎



市道和田8号線



長谷川 博議員

計画された和田地域の道路網整備を早急に

国、県の財政状況で休止状態にある

問

国道128号、バイパス(海発く花園)6.8キロメートル区間の今後の方向性は。

市長

国、県の財政状況もあり、現在は休止状況にある。

問

和田8号線(五十蔵く柴)全体計画延長4キロメートル、今年度800メートル完成を待つ休止、今後、残り3キロメートル区間をどう対応するか。

市長

市有地を活用した道路の有効活用を進め道路整備を図っていく。今後は社会情勢を見極めながら県との調整を図る。

問

向畑バイパス(白渚(国道128号)く小川(県道和田丸山館山線))全体計画延長800メートルの進捗状況は。

市長

事業として長期間において休止状態である。

建設環境部長

事業の再開は道路管理者と調整しながら進めていく。

自然災害から身を守るためにも森林整備に関心を

問

南三原財産区は、山林面積19ヘクタール予算9千円、北三原財産区は山林面積18ヘクタール予算2千円で長年に渡り放置状態である。先人が汗を流し植林をした人工林であり、市有林として管理した方が、財政上のためにもなると思うが。

総務部長

財産区の管理する山林の財産は財産区の考え方が大事である。現在日常生活、財産区そのものに依存しなくても生活が成り立つ時代である。

問

生活道中心の林道を市道に格上げできないか。

農林水産部長

関係機関、また

問

建設環境部と協議してできるものから市道にしていく。財産管理委員会の会議が行われた事実と経費、公金の管理と運用の仕方は。

総務部長

会議を開催したことはないと思う。経費は南三原、北三原財産区の予算内で利用が出来る。管理は市の会計管理者が行う。利用方法は議会の議決を持って決定される。



整備された森林



木曾 貴夫議員

今年度の主要事業の進捗状況はどのようになっているか

予定どおり進捗している事業もあるが、遅れている事業もある

問 事業の進捗状況について。

市長

事業の進捗状況について。防災行政無線デジタル化事業、千倉丸山体育館大規模改修事業は、予定通り進捗しているが、富山小中一貫校・幼保



富山小中一貫校特別教室棟

幼保一体化施設建設事業、三芳丸山体育館大規模改修事業

一体化施設建設事業、三芳幼保一体化施設建設事業のうち、外構等整備工事について、事業の進捗が遅れている。

問 事業の進捗が遅れる原因は何か。今後

どのように対応するか。

市長

富山小中一貫校・幼保一体化施設建設事業については、昨今の建設需要の高まりによる

技能労務者不足から、当該工事においても労務者の確保ができず、工程が遅れが生じている。現在は、約半年の遅れであり、今後、前倒し工程や作業時間の延長などについて検討し、早期完成に努める。

三芳幼保一体化施設建設事業の外構等整備工事については、プール工事において建設需要の高まりにより、水槽の製作に不測

の時間を要しており、約1カ月の遅れが生じている。工程管理については、両

工事ともに定例会議を実施し、工程が遅れが生じないように工程管理を徹底

する。

問 工期が遅れている業者が、大きな工

事をまた落札しているが、大丈夫か。

総務部長

全体の工事を見て、業者が大丈夫だろうとの判断で落札したものと思う。



戸別受信機

問 デジタル化事業の戸別無線機を年度当初に配布はできないか。

それが遅れてくる場合は、例えばペナルティーなど、いろいろな方法を今後考えていかなければならぬと考える。

市民生活部長

計画通りに配布している。本年度も年度当初から三芳地区に配布しており、現在富浦、富山地区に配布している。



辻 貞夫議員

スクールバスの管理体制は

専門性の高い外部委託に

問 運転手は第一種運転免許で良いとのことだが、第一種と第二種の違いをどのように捉えているのか。

教育長 第一種運転免許は自家用車等を無償で運行する場合のための免許で、第二種運転免許は緑ナンバーの営業用自動車等を使い、有償で商

業的な運行をする場合に必要な免許であると認識している。

問 保護者に、第一種運転免許保有者による運行について周知しているか。

教育長 周知は行っていない。

問 第二種運転免許保有者採用を内部規定で定めるべきではないか。

教育長 法的に第一種運転免許でも第二種運転免許でも良いことになっており、規定は必要ないと考えている。

明るくコミュニケーションが取れることや、災害など緊急時に児童生徒の誘導をきちんと行うことができる人を、受託会社に申し入

れしている。

問 夏休み中の対応と2学期に入ってから土・日曜日の部活動対応は。

教育長 嶺南中学校では、平日に3方面にそれぞれ午前午後

の1日2往復の運行と、富山中学校では、平日に1方面に午前午後の1日2往復の運行を行った。

また、2学期からの土・日曜日の部活動対応は、実施時間がまちまちであり、どの中学校からも運行の要望はきていない。

嶺南中と富山中は、遠距離通学の生徒が複数おり運行する考え

は。

教育長 学校のほうで要望があれば、対応するということは伝えてある。

効果を検討の上、外部委託するよう推進している。

問 直営体制にする考えはないか。

市長 外部委託できる事業については、

考えている。

自動車の運行管理を置き、車両の運行管理を行っており、安全で安心なスクールバス運行が期待できると



スクールバス



バスで通学する嶺南中学校の生徒

追跡 あの一般質問の行方は

平成25年6月定例会で行われた一般質問です。
その質問の一部について、その後の状況をお知らせするコーナーです。

問 朝夷行政センター駐車場は広いし休憩所の建物もある。駅ロータリーの高速バス乗り場を移転しては。

答 東京行き・千葉行き的高速バスに直接乗れば便利なので今後の利用状況を踏まえて検討する。

問 「協働のまちづくり」に一番大切なことは情報の共有であり、そのために、詳しい予算説明書が必要ではないか。

答 金額の大きなものや複数の地域にまたがるようなもの、道路の箇所付け等についても、まずは「ことしの予算」の改良として検討する。

その後

朝夷行政センターの高速バス乗り場「南房総千倉」は、平成25年10月より東京便の乗り入れが開始され、現在は利用者の待合環境向上のため、待合室の整備を進めています。

千倉駅には路線バス・電車・タクシーから的高速バス乗り継ぎ、バス券売所があります。バス乗り場の移転は高速バス事業者が決定する事ですが、地域の要望に合わせ、良い点・悪い点を検証しながら設置事業者と協議し進める予定です。



高速バス乗り場「南房総千倉」

その後

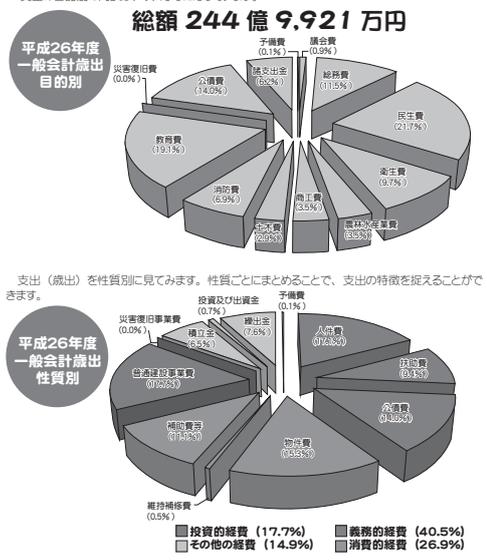
平成26年度「ことしの予算」は、社会資本整備の項目に地域別の「主な事業個所」を掲載しました。

また、昨年度より2ページ増やし、収入・支出の割合を円グラフで表示し、支出では目的別と性質別に分け、より分かりやすくしました。

これからも、市民のみなさんが理解しやすい紙面作りを心がけていきます。

支出（一般会計予算）

支出（歳出）は、福祉、教育、消防など市民の皆さんの暮らしや、道路整備や環境整備などの13の目的別に分けられ、それぞれが人件費や扶助費などといった性質別の経費で構成されています。支出の目的別の内訳は、次のようになっています。



グラフを増やし見やすくなった「ことしの予算」



こんなまちづくりに期待します

南房総市の道の駅



杉本 和彦さん
(和田地区)

皆さんは、南房総市が道の駅の数『日本一』といった事をご存知でしょうか。岐阜県にある、飛騨高山市と並んで、市内に8つの道の駅があり、南房総市は面積が飛騨高山市より小さい為、各道の駅が密集しているといえます。関東道の駅アワード2014にて、南房総市からは3つの道の駅がプレミアム30の中に選ばれました。しかし、地元の道の駅に足を運んだことのない方も多いと思います。魅力を感じず興味がわかなければ、なかなか見てみようとは思にくいと思うのですが、この南房総市に日本一と誇れるものがあるというのも、知っていただきたい事です。南房総は観光地です。道の駅はその地域の観光拠点となっている施設です。

今年の関東道の駅グランプリを受賞した、群馬県の川場(かわば)田園(でんえん)プラザは、川場村全体が関連施設となっており、地域に親密に密着していることも、お客様に喜んでもらえる理由の1つだと思います。

まずはお近くの道の駅に足を運んでみてはどうでしょうか。自慢できるような道の駅にしていきたいですね。

議会広報編集特別委員会では、市民の皆様のまちづくりに対するご意見・ご要望の投稿を募集しています。

連絡・投稿先 南房総市富浦町青木 28 番地
議会広報編集特別委員会

TEL 0470-33-1111 FAX 0470-20-4595

子どもを通して未来へ紡ぐ^{つむ}



角田 厚子さん
(富浦地区)

育児には祖父母のサポートは本当にありがたいことですね。私も祖父母には本当に感謝しています。少子化が進む中、祖父母のサポートによって第2子、第3子と出生意欲が高まると思うんです。

ただ孫の子守は大変ですね。けがをさせないように気を遣いながら。そんな方たちのために、祖父母と孫で参加できる交流の場があればいいなあと思います。もちろん祖父母に頼りっぱなしじゃダメですよ、パパ友も作らないと。

ママが子どもと一緒に参加する交流の場はあっても、パパと子どもだけで参加する交流の場はないような・・・。パパだけで子どもと一緒に絵本の読み聞かせや遊ぶイベントを企画して、参加する機会が増えることによって、子どもたちとのコミュニケーションだけでなく大人たちも地域の方たちとのネットワークを作りサポートしていけるのではないでしょうか。

この自然豊かな南房総の住み良い暮らしを見守りながら、子どもたちが『明るく、楽しく、元気よく』暮らせる環境を作ってあげることが、これからこの地で子育てをしていく若い方たちの支えとなり希望を与えられると思います。

市内初の幼保一体化 施設がオープン



三芳子ども園



元気な幼稚園児

三芳幼稚園と三芳保育所をひとつの建物内に一体化した「三芳子ども園」の建設が終了し、8月21日に竣工式が行われました。



保育園の1歳児

幼保一体化施設は0歳児から小学校就学前までの乳幼児に一貫したカリキュラム(※)を基に保育・教育を行い、教育の土台作りをすることを目的としています。

また、子育て支援の一環として三芳預かり保育室も施設内に設置しました。

施設内の厨房で調理した給食を、こども園に入所している全ての



遊具

乳幼児に提供します。

今後、幼保一体化施設としては、小中一貫校と併せて建設中の富山、旧朝夷小学校を改修中の千倉、旧八束小学校敷地内に建設予定の富浦など、順次開設していく予定です。

※カリキュラム
児童・生徒の発達段階や学習能力に応じて、順序だてて編成した教育内容の計画。教育課程。

12月定例会は
11月27日(木)

午前10時から
予定しています



傍聴手続きは簡単!!
市役所2階で住所・氏名
を書くだけです。

編集室より

議会だよりの表紙には、創刊号から市内のお祭りやイベント、そして施設などで働く人たちを紹介してきました。

第25号からは野球にサッカーやバレーボール、そしてバスケットボールなどのほか、柔道や剣道、さらに空手と様々なスポーツに取り組み子どもたちが表紙を飾り好評を得ています。

これからも親しまれる議会だよりのために、元気な市民の皆さんの活動を取り上げていきたいと思っております。

皆様のご意見や要望をお待ちしております。